

## 機械工学課程 兵頭 直弥さん

実務訓練機関 KCS Europe GmbH

## 海外で実務訓練を行った理由

もともと留学等に興味があり、大学に入学したときから、実務訓練は海外で行おうと考えていました。先生に相談したところ、研究室のOBの方がドイツで働いていたということもあり、話を通してもらったところスムーズに受け入れが決定しました。また、PVD コーティングに興味を持っていたことも決め手となりました。海外の大学という選択肢もありましたが、実務訓練ですので企業で行いたいと思っていました。



## 実務訓練先機関の紹介・実習

実務訓練先機関である KCS Europe 様は、神戸製鋼所様のヨーロッパグループ会社です。主に PVD (Physical Vapor Deposition) コーティングを行っています。私はコーティング装置の組み立てと操作を体験しました。また、企業の方にアーヘン工科大学に行くことをすすめていただき、実務訓練を開始するにあたって必要なコーティングに関する技術を学ぶために、急遽 10 日間大学 (Institute of Materials Chemistry) に通うことになりました。大学では、研究室の見学と研究員や学生の行う実験に参加させていただきました。

## 現地での生活

## ・移動手段

滞在先は会社から 1.5km ほど離れたところにあるホテルでした。ホテルのあるモンシャウからアーヘン工科大学まではバスで 1 時間と少しかかり、大雪でバスが走っておらず大学に行けなかった日もありました。ホテルから会社までは車でピックアップしていただいたり、歩いたりしました。

## ・言葉

会社では 10 数人の方が働いていましたが、英語を使ってコミュニケーションを取ることが難しい方もいました。近くのショップやレストランでも英語が通じないところがありました。

## ・食事

大学では毎日食堂で昼食 (1 食 2.6 ユーロ) をとりました。会社にいるときは、近くにあるパン屋、ファーストフード店などで買っていました。仕事終わりにはよくスーパーに行き、ときどきホテルで料理していました。

## ・休日

パリ、アーヘン、ケルン、デュッセルドルフを訪れました。現地でできた友達と出かけることが多かったです。会社の方にアーヘンを案内してもらったり、サッカー観戦に行ったり、非常に有意義に過ごすことができました。

## 海外実務訓練を考えている学生へ

安全面に関して不安に思う方がいるかもしれませんが、ドイツは治安が良く、危険だと思いません。言葉について、生活面ではたとえ単語とジェスチャーだけでもなんとかなるので心配することはないと思います。しかし、大学、会社内での会話には専門用語が入ったり、理論的な部分の説明を英語で理解する必要があります。

